

自然に学び自然を守る



水稲用殺虫・殺菌剤

農林水産省登録
第24347号



いもち病



トビイロウンカ ヒメトビウンカ

ウンカ類



アカスジカスミカメ ミナミアオカメムシ

カメムシ類

ブレードスタークル®

粉剤DL

治療効果の
フェリムゾンと
予防効果の
フサライド
2つの有効成分で
いもち病を一刀両断!!

ブレード®はクミアイ化学工業(株)の登録商標
スタークルは三井化学アグロ(株)の登録商標

水稻用殺虫・殺菌剤

ブレードスタークル[®] 粉剤DL

有効成分：ジノテフラン……………0.35%
 フェリムゾン……………2.0%
 フサライド……………1.5%

人畜毒性：普通物
 (毒劇物に該当しないものを指している通称)

特長

いもち病に対して治療効果に優れるフェリムゾンと予防効果に定評があるフサライドおよびウンカ類、カメムシ類などに卓効を示すジノテフランを有効成分とする殺虫・殺菌混合剤です。

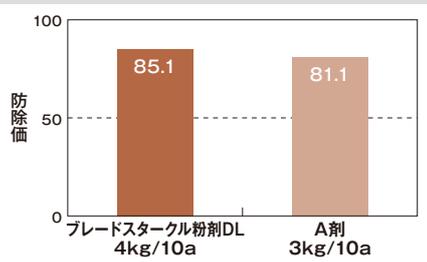
適用病害虫および使用方法

2020年5月現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	3~4kg /10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	2回以内	3回以内

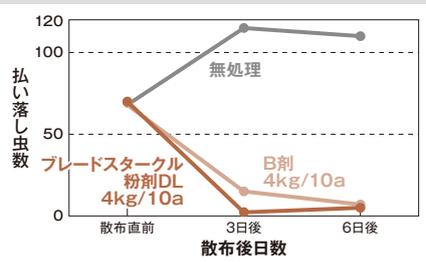
委託試験成績

■ 穂いもちに対する効果



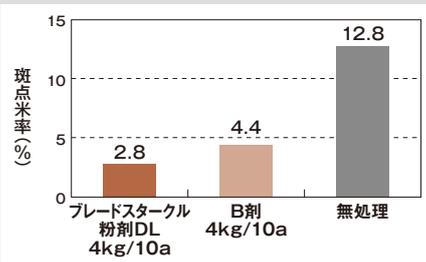
2018年 (一社)宮城県植物防疫協会
 品 種：ササニシキ
 区制・面積：16.2㎡(6m×2.7m)、3連制
 発生状況：少発生(接種)
 散 布：7/6、7/17、7/30、8/10に小型手動散粉機で散布(出穂期：7/28)
 調査方法：8/20に伝染源設置箇所を中心に50株について程度別発病穂数を調査し、被害度を算出した。

■ ウンカ類(ヒメトビウンカ)に対する効果



2018年 兵庫県植物防疫協会
 品 種：ヒノヒカリ
 区制・面積：156㎡(12m×13m)、連制なし
 発生状況：少発生
 散 布：9/5(穂揃い期)
 調査方法：各区3か所でそれぞれ20回すくい取りをおこない、虫数を調査した。

■ カメムシ類(斑点米)に対する効果



2018年 (一社)日本植物防疫協会高知試験場
 品 種：ヒノヒカリ
 区制・面積：101.4㎡(13.0m×7.8m)、連制なし
 発生状況：ミナミアオカメムシ 多発生、イネカメムシ中発生、ホソハリカメムシおよびクモヘリカメムシ 少発生
 散 布：9/5(乳熟初期)に小型手動散粉機で散布
 調査方法：9/28に各区より30株を採取し2000粒中の斑点米数を調査した。

注意事項

- 本剤はできるだけ飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ、見かけ比重がやや大きく流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を1目盛程度しぼって散布してください。
- たばこ、けいとうおよびだいず、あずき、いんげんまめの幼植物には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
 ●空容器は圃場などに放置せず、環境に影響を与えないように適切に処理してください。 ●使用量に合わせ秤量し、使いきってください。